【　急性虫垂炎　】

虫垂は大腸の始まりの部分から突出している盲腸と部分です。虫垂の内部で細菌が増殖し、炎症が生じた病態を虫垂炎と言いますが、炎症の原因は様々です。虫垂炎は年長児ほど発生しやすく、5歳以下は少ないとされています。小児の虫垂炎は大人と比べて訴えが不確実で診断が遅れがちです。また、虫垂の壁が薄いため穿孔（破裂しやすく）、容易に腹膜炎を併発します。虫垂炎の手術療法として腹腔鏡を使った手術があります。カメラと専用の道具を用い、腹壁に開けた「穴」を通して手術を行う方法です。当院では急性虫垂炎の腹腔鏡手術は年間約10例行っており、患者さんはこのような入院生活を送ります。

小児外科

患者さん用

急性虫垂炎の腹腔鏡手術 を受ける患者さんへ

お名前:　　主治医:　　担当看護師:

月日 ／ 項目	／	／		／	／	／
	入院当日	入院2日目		入院3日目	入院4日目	退院
	手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目
達成目標	・不安なく手術に臨める	・不安なく手術に臨める ・発熱がない	・苦痛・疼痛がコントロールされている ・出血がない	・出血がない	・食事が摂れる	
治療・薬剤（点滴・内服）・処置・リハビリ	・内服している薬を確認します 	・朝の内服は、麻酔科医に確認して行ないます ・必要時、点滴を挿入します 前投薬[　　]を「　　時　　分]に内服します	・麻酔から覚めるまで酸素吸入を行ないます		・点滴が外れます ・抗生剤[　　]を内服します	・創部の消毒を行ないます
検査						
活動・安静度	・病棟内のみ歩行できます	・前投薬を内服後はベッド上で安静にします ・前投薬を内服した場合、ストレッチャーで手術室まで行きます 手術室入室時間[　　時　　分]	・初回の歩行は看護師が付き添います	・病棟内のみ歩行できます		
食事	制限はありません	・深夜0時から絶食となります ・お茶・白湯は[　　]時まで飲めます 		・お腹の動きを確認して飲水を開始します ・飲水後、嘔吐がなければ流動食を開始します	・流動食から、徐々に中粥～全粥へと変更していきます	・通常の食事になります
清潔	・シャワー浴ができます		・シャワー浴はできません	温かいタオルで身体を拭きます		
排泄	・歩いてトイレに行けます	・前投薬の内服前に排尿・排便を済ませてください	・麻酔から覚めるまで、ベッド上での排泄となります ・覚醒後は、歩いてトイレに行けます ・尿の1回量と、1日の尿回数を記録します	・尿の1回量と、1日の排泄回数を記録します		
患者さん及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・医師が病状と治療方針について説明します ・手術室看護師の術前訪問があります ・麻酔科医から説明があります ・前投薬が必要の際には、ご両親の同意が必要となります ・手術・麻酔承諾書を預かります ・明日は、[　　時　　分]までに来棟してください	・前投薬を内服後は、ふらつきや眠気が生じるので、ベッドやストレッチャーからの転落に注意してください ・手術室入室時は、手術室の看護師がお子様の名前を確認しますので、同席してください 	・手術終了後、医師から説明があります ・麻酔から完全に覚めるまでは、泣いたり暴れたりすることがあるので、話しかけたり抱っこをして安心させてあげてください ・激しく動いたりすることで、点滴が抜けたり、転倒する可能性があるので、注意してください ・腸や肺の動きをよくするため、歩行してください	・食事中に気分が悪くなったら、看護師に知らせてください		・退院後の生活についての説明があります ・内服薬の説明をし、お渡しします

ご質問やご不明な点がありましたら、医師または看護師にお伝えください。
予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承ください。

東邦大学医療センター　大森病院

作成日：平成28年11月11日